

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

3月4日、赤潮・貝毒のプランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類に対して被害のあるコクロディニウム・ポリクリコイデス（香川県の場合：注意報 100 細胞/ml、警報 1,000 細胞/ml）が最大で 0.408 細胞/ml と非常に低密度ながら確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で 0.376 及び 0.116 細胞/ml 確認されました。

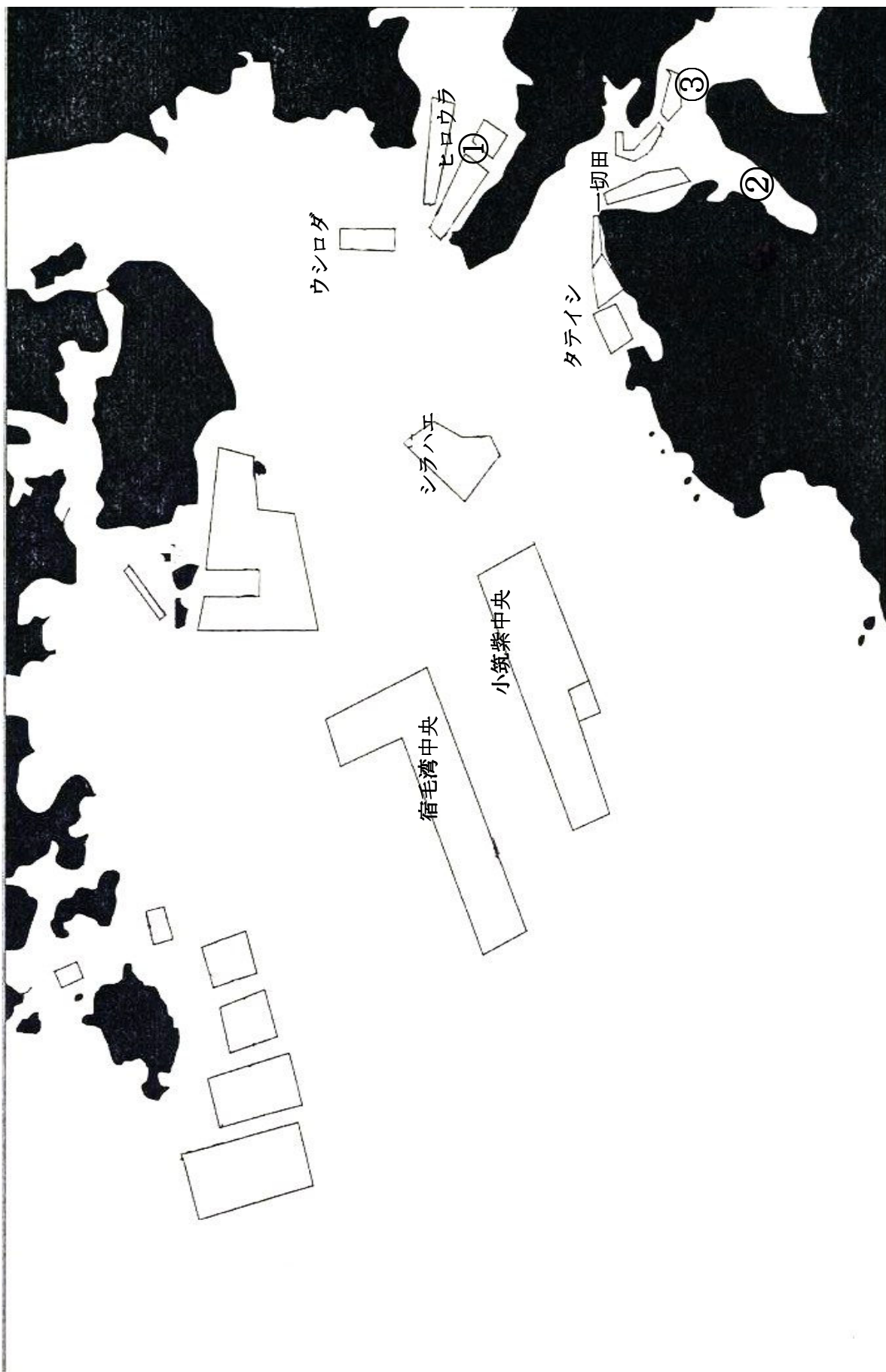
今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（海水 250ml を 250 倍に濃縮してプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (10:00~10:30) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス *1	ギムノディニウム・ カテナータム *2	アレキサンドリウム 属*2	珪藻
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)				
ヒロウラ 下図①	0	16.1	28.3	8.95	0.016	0.032	0.056	多
	5	17.4	33.8	6.81	0.128	0.112	0.024	多
	10	17.3	33.9	6.65	0.016	0.360	0.000	少
栄喜湾内 下図②	0	16.0	28.9	9.04	0.224	0.224	0.008	少
	5	17.5	34.1	7.70	0.364	0.364	0.020	中
	10	17.3	34.0	7.13	0.000	0.000	0.000	中
青瀬山 下図③	0	16.9	28.6	8.70	0.092	0.136	0.116	多
	5	17.7	34.0	7.83	0.408	0.376	0.000	多
	10	17.3	34.0	7.10	0.252	0.188	0.000	少

*1：魚類に対して被害のある種

*2：麻痺性貝毒の原因種



ウシロダ

シラハア

宿毛湾中央

小筑紫中央

タテイシ

切田

ヒロウカ

①

②

③